

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム虹

作成日: 平成 28年 8月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	法人の理念は理解し日々の支援に務めているが、事業所の理念を設けておらず、グループホームの特色を生かした独自の支援が見えにくい。	職員と話し合いを行い、法人の理念を基盤とし、施設独自の理念を作成し、職員と共有する。	施設ミーティングで理念について話し合い、決定する。事務所やホールに理念を掲示し、職員がいつも目にする事が出来る。全員が共通の理解をし支援に取り組む。	1 か月	
2	10	面会が頻回な家族とは、情報の提供や家族様の相談業務など出来ているが、大半の遠方の家族様に対しては、現況報告や計画作成の際の相談が出来ていなかった。その為、施設での生活状況や支援内容が家族に伝わりにくく、家族の不安を招いている。	少なくとも月に1回は生活状況の報告を行い、問題が発生した場合には細かく相談しながら進めていく。計画作成の際にも、家族の意思、要望などをこれまで以上に伺い、分かりやすい計画書を作成する。	施設新聞の作成や電話・手紙などで状況の報告を行い、安心して頂くと共に家族様が相談しやすい施設作りを目指す。年に1～2回の家族会の実施。	1 か月	
3	26	計画書に沿ったケアに努めているが、記録が不十分なため、支援内容や日々の変化が見えにくく、しっかりしたモニタリングとしての機能ができていない。	日々の支援記録がプランに沿ったものになり、モニタリングとしての機能が果たせるように実行する。記録が継続的なものになるよう、職員全員が共通した認識を持てる。	これまでの記録方法を見直し、支援内容がプランに沿っており、記録がモニタリングの役割が果たせるよう、具体的に継続的な記録になるよう努める事を話し合った。	1 か月	
4	2	日々の生活の中で、地域との交流の機会が少なく、積極的な参加も出来なかった。地域に根付いた施設生活をしていく為にも、この地域の社会資源を活用することも必要。	社会資源を活用し、全体的な社会参加や個別的な地域の人との交流の機会を持つ。	ご利用者様がどのような対人関係をしてきたかなどアセスメントを行い、その方に合った個別的な社会参加を考える。地域の社会資源について情報を収集し、各機関と連携を持つ。	3 か月	
5		防災について、職員間の連携が薄く、マニュアルや訓練に関して周知できていない。	マニュアルの作成と職員への周知徹底。職員全員で防災についての認識を話し合い、訓練の際には、マニュアルの使用や計画、実施と全員で取り組む。	マニュアルや緊急時連絡網の作成。ミーティングでマニュアルの確認と訓練についての説明を行う。	2 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った	
	<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した	
	<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした	
		④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した	
		⑤その他()	
2 自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した	
	<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った	
	<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った	
	<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った	
		⑤その他()	
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった	
	<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた	
	<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た	
		④その他()	
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った	
		②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った	
		③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った	
		④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った	
		⑤その他()	
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した	
	<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)	
	<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)	
	<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)	
		⑤その他()	